

ヘルスデータサイエンス学会・オンラインセミナー

「臨床予測モデル概論」



日時：2024年11月6日（水）14:00～17:30

参加費：正会員・学生会員・賛助会員：無料

非会員（一般）：10,000円

非会員（学生）：5,000円

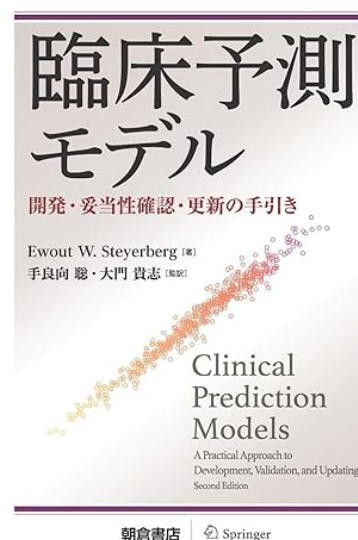
概要：

エーヴァウト・W・シュタイヤーベルク著『臨床予測モデル－開発・妥当性確認・更新の手引き－』の第1章～第5章の内容について、監訳者／翻訳者である手良向聡、大門貴志、井桁正堯の3名の講師が解説します。

本書（134頁）の「妥当な予測モデルを開発するためのチェックリスト」のうち、一般的考慮事項（研究課題、意図された適用場面、アウトカム、予測子、研究デザイン、統計モデル、標本サイズ）に焦点を当て、予測研究における重要な概念について説明するとともに、臨床予測モデル特有の概念である過剰適合とオプティミズムについても解説を加えます。

対象とする参加者：

臨床予測モデルの開発、妥当性確認または更新に関心のある臨床家、疫学者、生物統計家、データ科学者、コンピュータ科学者、および政策決定者を想定しています。なお、基本的な臨床医学知識、および統計モデル（回帰分析など）の基礎知識は必要ですが、高度な統計学的知識は必要ではありません。



プログラム：

1. 14:00～14:40 臨床予測モデルとは？

手良向聡（京都府立医科大学大学院医学研究科 生物統計学 教授）

『臨床予測モデル』の第1章「はじめに」を解説し、第24章の「主題に関する知識 対機械学習」「予測モデルの報告とバイアスのリスク」を簡単に紹介します。

2. 14:45～15:55 医学における予測モデル（前編）

大門貴志（兵庫医科大学大学院医学研究科 生物統計学 教授）

『臨床予測モデル』の第2章「予測モデルの適用」および第3章「予測モデル構築のための研究デザイン」を解説します。

3. 16:00～17:30 医学における予測モデル（後編）

井桁正堯（兵庫医科大学大学院医学研究科 生物統計学 准教授）

『臨床予測モデル』の第4章「予測のための統計モデル」および第5章「予測モデルにおける過剰適合とオプティミズム」を解説します。

以上